

# 北海道 P C B 処理事業所 【当初】大型トランスエリア等解体撤去工事 (R9.4~R11.3 (予定))






## 実施計画書

令和8年(2026年)3月24日  
中間貯蔵・環境安全事業株式会社  
北海道 P C B 処理事業所

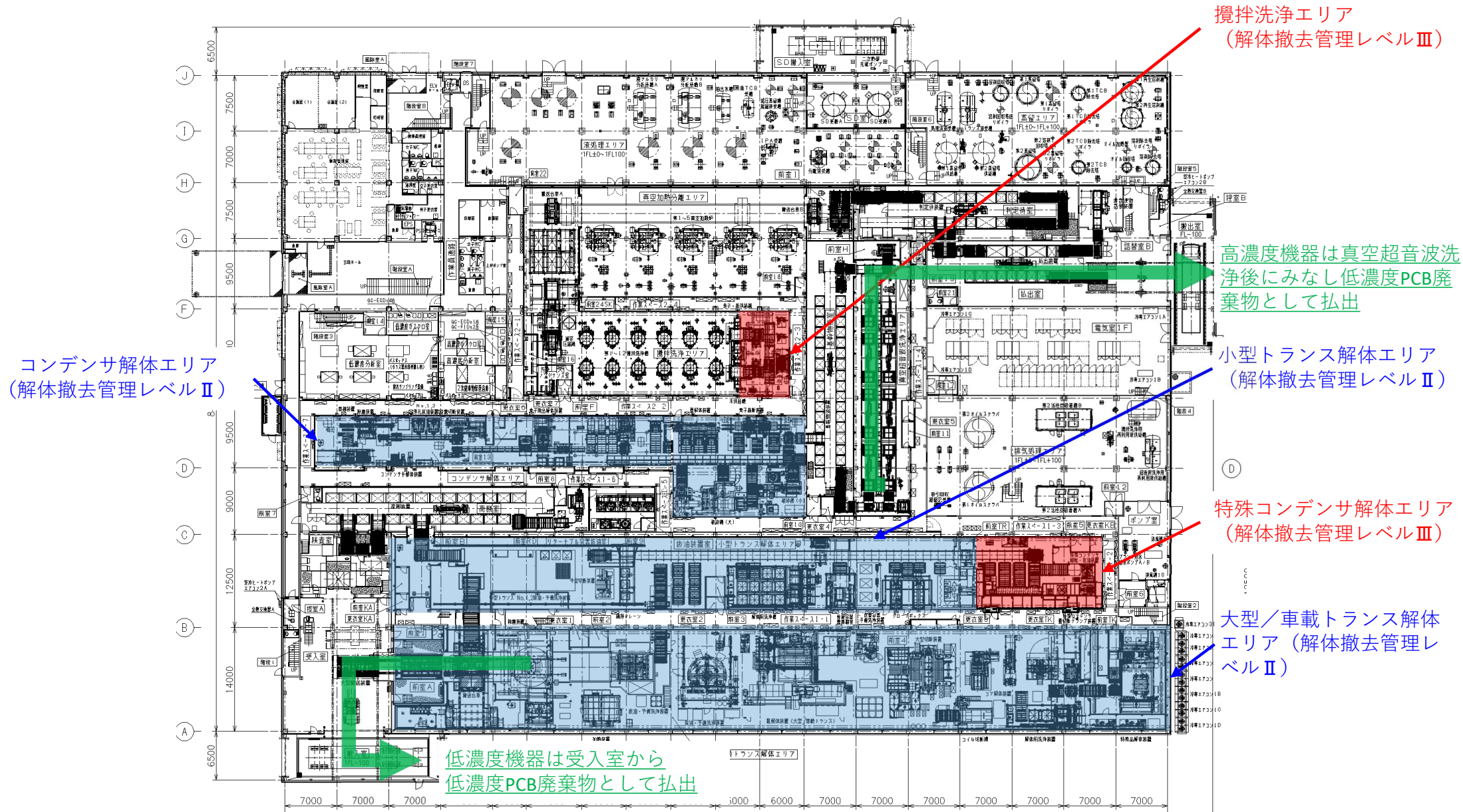
# 今回の解体撤去工事の概要

- 工事名称：北海道PCB廃棄物処理施設（当初）大型トランスエリア等解体撤去工事
- 入札公告：令和8年（2026年）上期（予定）
- 工事期間：令和9年（2026年）4月～令和11年（2029年）3月（予定）  
※令和8年度は、上記工事を実施するための「事前作業（配管・タンクの液抜き洗浄等）」を実施
- 工事対象：大型／車載トランス解体エリア、小型トランス解体エリア、特殊コンデンサ解体エリア、コンデンサ解体エリア及び攪拌洗浄エリアにある機器（約680t）  
※コンデンサ解体エリアにある機器は、「コンデンサ解体設備の解体工事（その2）」で撤去しなかった機器です。  
※攪拌洗浄エリアにある機器は、高濃度PCBが付着した機器のみを対象としています。  
※今後の検討により変更することがあります。
- 目的：
  - 解体撤去対象は、トランス、及びコンデンサ等を解体していた設備で、大半は低濃度PCBが付着していることから外部施設（無害化処理認定施設）で処理を行う。一部の設備等については、高濃度PCBが付着していることから、解体後、JESCO施設（真空超音波洗浄装置）での処理を計画している。なお、洗浄した金属部材は、みなし低濃度PCB廃棄物として無害化処理認定施設にて処理する。
  - 令和7年4月に発生したトラブル（北海道PCB処理事業所からの有価物（金属類）に基準値超PCB含有油が混在して払出）と同種工事が一部あるため、再発防止策を図るために、受注者を対象に、座学・試行解体を行います。

# 今回の解体撤去工事の主な対象機器

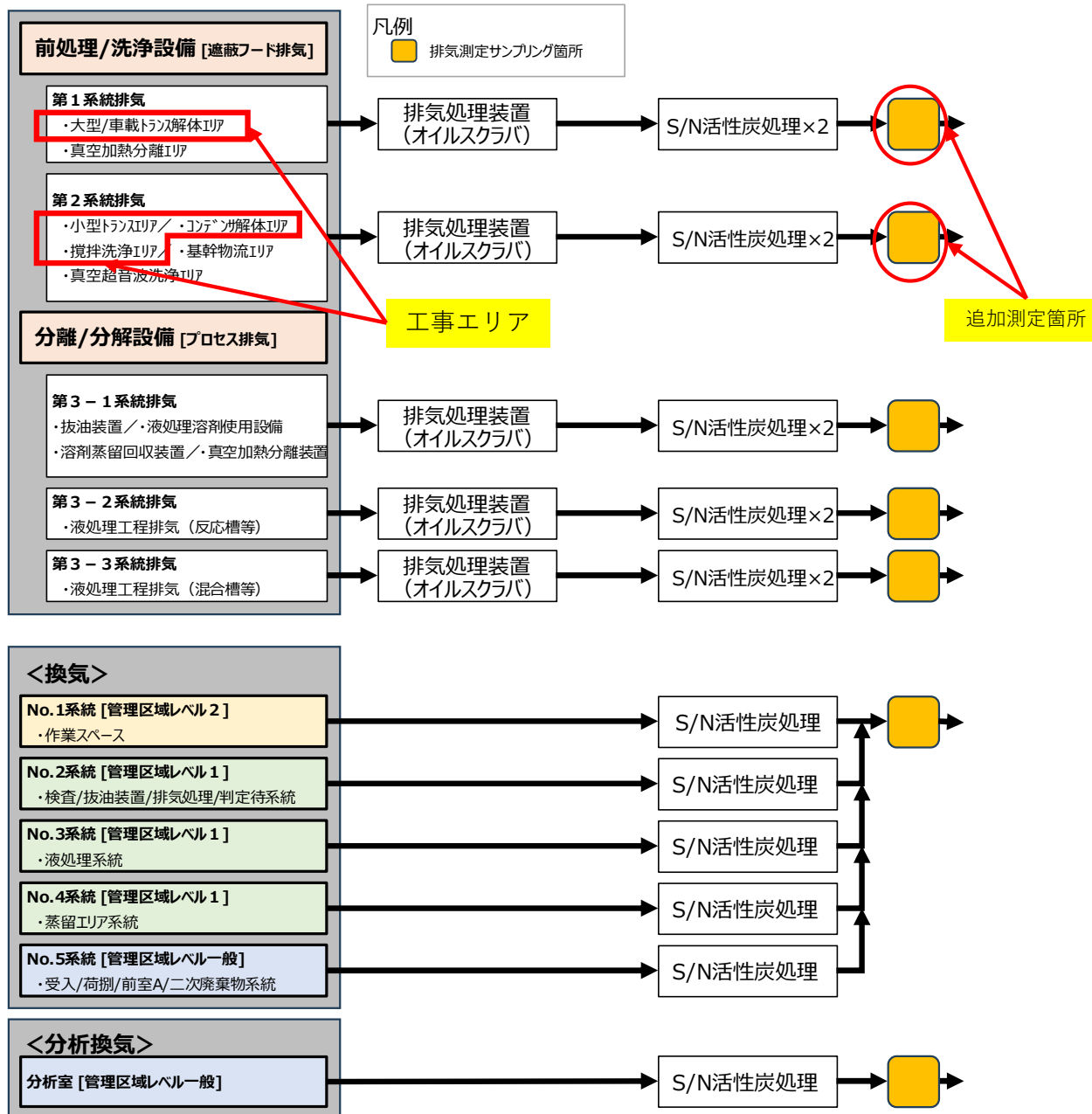
対象機器		重量(t)	対象機器		重量(t)
抜油予備 洗浄装置 (車載Tr)		48.6	鉄心 整形装置		5.0
大型 切断装置		10.4	特殊コンデン サ穿孔・抜油 装置等		4.2
解体前 洗浄槽		14.0	その他機器・配管等		598
			合計重量(t)		<b>680</b>

# 今回の解体撤去工事の範囲



※解体撤去管理レベルⅡにおいても、配管・ポンプ等の高濃度機器があります。  
 ※工事範囲は今後の検討により変更することがあります。

# 周辺環境の保全（排出源モニタリング）



■ 排出源モニタリング計画  
 周辺環境への影響がないことを確認するため、定期的なPCBモニタリングに加えて、作業環境中PCB濃度が高くなると考えられるタイミングで、作業環境中PCB濃度、第1系統、及び第2系統排気口のオフライン測定（PCB等）を実施。



写真1 活性炭吸着槽



写真2 活性炭吸着槽後 サンプルング状況（参考）

# 工事工程

大型トランスエリア等解体撤去工事 工程（予定）

		2025 (R7)	2026 (R8) 年度				2027 (R9) 年度				2028 (R10) 年度			
(参考) コンデンサ解体設備 解体工事 (その2)			■											
解体撤去工事に係る業務・等	事前作業	配管・タンクの液抜き・洗浄	■											
		PCB付着状況調査	■											
		事前工事（電気工事等）			■									
	解体撤去工事	発注手続き			■									
		工事					■							
工事	除去分別（真空超音波洗浄装置での処理）					■								

※上記工程は、今後の検討、及び進捗状況により変更することがあります。

※上記工程は、大型トランスエリア等解体撤去工事に関わる工程であり、この後も液処理設備等を対象とした「配管・タンクの液抜き・洗浄」、「PCB付着状況調査」、「除去分別（真空超音波洗浄装置等での処理）」、「解体撤去工事」を計画しています。